

東由利町報

No. 230の① 昭和51年(1976)1月1日

発行 秋田県東由利町役場 印刷 KK本間印刷所
毎月1日発行(1部20円) 昭和42年7月21日第3種郵便物認可

町の概況

人口総数	6,625
うち男	3,250
うち女	3,375
世帯数	1,501
面積	148.51

森林愛護ポスター

「原画」を募集

国土緑化委員会では国民の森林に対する愛護思想の普及を目的に次により森林愛護運動ポスターの原画を募集しています。

①応募資格 一般(小学生は除く) ②締切 昭和51年1月末 ③送付先 東京都千代田区平河町二丁目七番地 国土緑化推進委員会 ④用紙 画用紙またはケント紙で縦51センチ、横36センチを基準に縦書きその他作品中には文字を一切挿入しない。裏面に住所・氏名・年令・性別・職業を明記する。ポスターカラーは油彩水彩を用いる。⑤審査の上入選一席一名十万円、二席若干名各二万円、佳作若干名各五万円の賞を与える。



小松町長

昭和の御代も半世紀が経った。昭和六十年に満州事変十二年には日支事変、大東亜戦争が終った昭和二十年までは戦火の絶えぬ年月であった。その後の三十年間我が国は、近代の歴史にはかつてない平和に恵まれた。

昭和五十年の新年と迎えて

東由利町長 小松 毅

昭和の御代も半世紀が経った。昭和六十年に満州事変十二年には日支事変、大東亜戦争が終った昭和二十年までは戦火の絶えぬ年月であった。その後の三十年間我が国は、近代の歴史にはかつてない平和に恵まれた。しかし反面、平和は退屈であるためか、平和に耐え兼ね難いような諸現象が現われ、政治経済からみ合せて諸事勃動した世相となつた。

昨秋、本庄由利広域圏の理事者(市町村長)が、五十年間の広域行政の成果を見てまわつた。各町村それぞれ努力のあとが見られた。本町は、国・県と歯車を合わせて各種の振興施策を取り入れた成果が評価された。町は五十年で第二期振興の指定を受け、五十二年は第三期振興の指定を受けようとしております。

私は、この路線選択は間違いないの、農業施策であるとの確信しております。要は農家個々の事情にそれぞれの違いがあり、農家の実情をどうに配慮させるか、工夫することが大切であります。振興が大きな課題となつて来ました。

人間は人間らしい生き方を求め、不断の努力を続けたい。この軌跡を文化と言ふべきか……。過ぎ去るものと、来たるものと、その鼓動に耳を傾け、昭和五十年の新春を迎えたい。

公務館所在地を規定 町公民館の完成により、その所在地、老方字台山三十六番地を条例に規定した。 (東由利町公民館条例の一部改正) 小災害復旧事業の「専決処分」を承認 八月災害に係る一件十万円以下の農地等の小災害百カ所の復旧に際して、来年度の作付に支障を及ぼさないよう速やかに工事を実施する必要があることから専決処分にした。 (専決処分の承認を求め) 公民館の職員給与を改定する 一般職の職員給与を改定した。 (適用は五十年四月一日から) (一般職の職員給与に関する条例の一部改正) 教育長給19万円台に 一般職の給与の改正と同様理由により給与の引き上げを行うために条例の改正を行つた。 (現行月額十五万三千円から三万八千円アップの十九万一千円としたもの。適用は五十年四月一日から) (教育委員会教育長の給与および勤務時間等に関する条例の一部改正)

書き初め

一年の計は元旦にあり、たつぷりと墨を含ませた筆から生まれる一字一字には子どもたちの無限の夢と期待が込められている。この一年、健康であってほしい。平和な日々であってほしい。希いのは全町民が同じである。

給与条例の改正等

全案件可決し閉会

災害復旧に全力傾注 町長報告 政報告

第五回町議会定例会は十二月十九日役場に招集され、会期を同月二十四日までの六日間と定めた。一議員による一般質問、続いて町職員給与に関する条例の一部改正など提出八案件および昭和四十九年度決算の認定などが上程され、会期末までに全案件を原案どおり決定、あるいは認定して閉会しました。



第一日目の開議に先立ち町長は、八月の災害に際して取り組んで来たこと、進捗状況や第二期山形復興計画および第二期農業構造改善事業の指定並びに実施に関する作業の進捗状況、見直しなどについて町政報告を行いました。この中で、八月災害の被害額および復旧に要する額は八月十六日現在で想定した額とはほぼ相違がなかったこと、復旧事業の設計から発注までには色々なプロセスが先立っており、八月の災害に際して取り組んで来たこと、進捗状況や第二期山形復興計画および第二期農業構造改善事業の指定並びに実施に関する作業の進捗状況、見直しなどについて町政報告を行いました。



長沢議長

厳しい局面打開の年に

町議会議長 長沢 毅

龍年の新春を迎えておめでと。消費は美徳とまで極論され沸きに沸いたブルームも金融引き締めやオイルショックのあおりで、中小企業や大企業までが倒産など瀕死の状況に陥っています。

民主主義を唱えて利己主義に走る輩が横行した昭和五十年。保革対決と言われて県知事選が、次いで本町の首長選挙の査定を終え、復旧工事の発注にまいりました。

社会教育の振興を期してまいりた。町民の皆さんの積極的な利用を期待いたします。なほ、教育委員会の事務局が十二月一日から公民館の一室に移転しており、公民館の管理運営に支障を来さないよう鋭意努力をしております。

今年こそは、全町民が私利私欲を捨て、公共福祉の増進に相携してのぞみ、きびしい局面の打開に、活気ある町造りに努力する年とした。 今年こそは、全町民が私利私欲を捨て、公共福祉の増進に相携してのぞみ、きびしい局面の打開に、活気ある町造りに努力する年とした。



佐藤教育委員長

年頭雑感

町教育委員長 佐藤 松之助

社会教育の場である公民館が、台山の一角に完成した。これは本町に喜ばしいことであり、今後この施設を十分に活用して公民館活動の飛躍的発展をはかり、

石油危機、物価高など国内経済が悪化の一途をたどり、地方財政に大きな影響を与えた。本町でも、前年度に続く大幅繰越金を生じたことは、あらゆる制度の活用で財源確保に努力された結果と見られ、喜ばしいことである。

財政運営は健全・適切

代表 長谷山理一郎

歳入総額八億五千四百一十九万二千二百八十八円、翌年度繰越額二千三百八十二万三千八百二十八円にのぼる昭和四十九年度一般会計並びに各特別会計決算を認定した。内容は別途発行の財政報告のとおり。

昭和三十九年度各会計決算を認定 歳入総額八億五千四百一十九万二千二百八十八円、翌年度繰越額二千三百八十二万三千八百二十八円にのぼる昭和四十九年度一般会計並びに各特別会計決算を認定した。内容は別途発行の財政報告のとおり。

昭和半世紀、後半初年への抱負

今年のエトは「昇り竜」や乾天に慈雨をもたらす「水神」として緑起のよい動物とされている。タツは、頭・角・目・耳・腹・ツメ・鱗など、それぞれ他の動物の最もすぐれた部分をとって形体化された十二支中、唯一の架空動物で「登竜門」「竜頭蛇尾」「龍をくっつけて眼入れず」など、ことわざの中にも多く出て来ます。そこで今年は、緑起ものエトにちなんで明治二十五年から昭和三十九年までのタツ年生まれの代表七人に登場願ひ、昭和半世紀、後半初年に対する抱負などを寄せいただきました。

郡大会でゆう勝したい



歳小5年 小松 信 (11)
あけ 室ができました。また柔剣道もして、のスポーツ少年団も結成されおめで ました。
とうこ ぼくは剣道の団員として毎週土曜日の午後、みんなといっしょに体育館でけんこを練習して、七月に郡大会に出じようしました。

きよ年は、ぼくたちの学校が、あいつがあんまり強いので一年生と二年生の新しい教一回戦でおしくも負けてしまいました。

タツ年の「ツキ」に期待



湯出野 佐藤久穂 (23)

十二 何とか両立させて来た。しかし支など、昨年は戦後最大といふ不況で勤務先の企業も大きな影響を受けたが、今年こそはタツの余勢をかけて、生産に拍車がかかり従業員の皆んなが安心して暮らせる年になってほしいと思う。

年若くして健康を害した父が、親にかわって農業を引き継いで三年、数年前からは町内企業に就職、勤めと自家農業を

負けず嫌いを一層発揮



大琴 佐々木カツ子 (35)

で強性 婦人の大半がそれと職場を張りな を持ち勤めに出ている。農家は規模の大小にかかわらず朝夕や日曜に田んぼの仕事、生活十六年目で三度目の辰年を迎えた私、とんだところでタツに迷惑をかけている。去年は国際婦人年、これからは女性も強く賢くなければ

町勢の一層の伸長発展に大きな夢が託された木島氏の作品「龍」



木島氏の作品「龍」

龍

来年度の県営圃場整備事業

真木田地区など50ヘクタール

県営圃場整備事業に関する各種の連絡調整など事業の円滑な推進を目的に、県・町・農協・土地改良区が構成員となつて結成している「四者会議」では、先般昭和五十一年度の事業実施地区は、昭和四十九年度および五十年年度の農圃事業実施地区として、館合地区を中心とする第二換地区の残面積および第三換地区（老方地区）の一部とする

第三換地区内の実施地区選定には四者会議の直接的な介入は不要になります。

る県が単独で事業量など全体を勘案して決定したもので、東北農政局のヒヤリングを終了したことから、町では近々にも関係地域の受益者との協議会をもち、事業内容の説明と協議を予定していますが、当面、これらの地域には堆肥などの施設工事が行われることになりません。

両施設の増改築完成

あとは国の「認可」待ち

法人の認可施設となるため、施設の整備が進められていた。永慶・みどり両保育園の増改築工事がほぼ完成、認可が待

たれています。このたびの施設整備として、永慶保育園は遊戯室・給食室・給食室分として百三十一・

七平方メートル増築、既存施設をあわせて四百二十四・八平方メートルにそれぞれ拡張されました。両施設とも増築分は木造ながら、幼児向けの用途に最も適すよう設計に配慮がなされ

増築、既存施設をあわせて四百八十七・五平方メートルに、みどり保育園は乳児室・ほふく室

七平方メートル増築、既存施設をあわせて四百二十四・八平方メートルにそれぞれ拡張されました。両施設とも増築分は木造ながら、幼児向けの用途に最も適すよう設計に配慮がなされ

明るく近代的な施設として完成しています。増改築分の事業費は永慶保育園が一千六百七十五万七千円、みどり保育園が一千二百一十一万円で、いずれも町補助金および町貸付金が主財源となっています。認可施設への移行を心待ちにしているみどり保育園ではこのほど親子の楽しみ会を開催して父兄たちに増築施設を披露するとともに、園児たちが元気いっぱい劇や遊



元気に遊戯を発表するみどり保育園児たち

物価高鎮静の年に



田代 佐藤 功 (47)
町内 来ません。消費者の一人一人を相手に商いをしている私も商人にあって、魚一尾の値段が一日違いで大幅に違う（高くなつて）ような異常物価が続く中では、商売もやりづらくてなりません。今年はまだ第一に物価高が鎮静する年であつてほしいと願っています。

うございませう。

昨年是不況に明け不況に暮れ、物価の高騰に悩まされ続けた一年でしたが、その傾向は今年も相変わらずのようです。国では不況や物価対策など色々なことを実施するよう報道していますが、我々庶民に、社会では最も活躍しなけ

今年が還暦、日々を大切に



袖山 佐々木キネ (59)
大正 たにもかわからず、五人の子とも恵まれ現在では孫も九人になりました。

今年が還暦、昭和八年に結婚、大東亜戦争が始まった同年に現在地に分家、ランブ生活をふり出しに始まった今の生活もすでに三十五年目を迎えました。

心で「若水」を汲む



家ノ下 永沢誠一 (71)
朝日 と早起きをして清水を汲み、神前に備えては一族の無病息災と豊作を祈願し合った子ど

東由利、あけまして新年おめでとごさいます。日露戦争が始まった明治三十七年辰年生まれの私は、今年六回目のタツ年を迎え喜びがひとしおでございませう。元旦から七日まで、各家の跡継ぎの若者たちがわれ先に

法内線の完成「確めたい



新 越 藤太吉 (83)
明治 となりになりました。長いようでもあり、また短かいようでも

御代を経験したわたしは、今年八回目の丙辰年を迎えることになり、物心ついで以来書き綴ってきた日記に過去をしのび、改めた年への決意を誓うことを習慣にして

小学校時代に迎えた二回目の辰年は、日露の開戦があり学校で戦争画を見ては幼い心をおどらせ、海軍が旅順を陥落させ、陸軍が奉天を陥落させさせたときのチャウチン行列など

明る近代化的な施設として完成しています。

増改築分の事業費は永慶保育園が一千六百七十五万七千円、みどり保育園が一千二百一十一万円で、いずれも町補助金および町貸付金が主財源となっています。

認可施設への移行を心待ちにしているみどり保育園ではこのほど親子の楽しみ会を開催して父兄たちに増築施設を披露するとともに、園児たちが元気いっぱい劇や遊

東由利町報

昭和51年(1976)1月1日 No. 230の②

発行 秋田県東由利町役場 印刷 KK本間印刷所
毎月1日発行(1部20円)昭和42年7月21日第3種郵便物認可

県立博物館

休館日にご注意

昨年五月、秋田市金尾地区にオープン本町産の珪化木なども展示されている県立博物館の休館日は次のとおりとなっております。
休館日に訪れる方も多く出かけて前に十分確かめるようのぞまれています。
【休館日】▼毎週木曜日。
▼国民の祝日。▼年末年始(12月28日～1月3日)▼全館消毒実施の日(年間1～2回)
なお次の日は無料で公開します。

冬休み規則正しく

冬休みは三学期や入試への踏み台になります。家族みんなで規則正しい生活に心を配り合いましょ。

無料解放日は年四回

▼5月5日(子供の日)▼8月29日(県の日)▼9月15日(敬老の日)▼11月3日(文化の日)

「愛育活動」に講師来町

学習会7日朋楽荘で

本町には婦人会員など七十人の愛育班員があり、町保健婦と連絡を取り合いながら「母子」の健康を増進させるため地区内各世帯を巡回、各種相談に応じたり助言を行う訪問活動を続けています。愛育班員のこうし目頃の活動ぶりを現地に見、必要な指導や助言を行うことを目的に一月七日、東京都の恩賜財団母子愛育会から専門講師(植村君江女史)が来町、同日午後から朋楽荘で同活動についての学習会が開かれます。班員始め一般婦人など多数の聴講がのぞまれています。

出かせぎ者の安全就労を目的に専任の係を配置した町では、担当係を事業所へ訪問させたり、帰郷バスの運行取りまとめを試みるなど積極的な

試みのせきか 帰郷バス好評

職員派遣先月から実施

出かせぎ者の安全就労を目的に専任の係を配置した町では、担当係を事業所へ訪問させたり、帰郷バスの運行取りまとめを試みるなど積極的な



新鋭機を今冬も増強

効果左右する住民協力

守ってほしい六項目

無理な追越しをしない。
標識や目標物を移動しない
除雪作業は交通標識やスノー用ポールを目標にして行っているのを移動したり設置場所を変更したりしない。
出入口の排雪は各戸ごとに除雪作業によって各戸の出入口に堆積する雪は再び道路に出さず、各戸でそれぞれ積り場を確保して取り除かれた

町内除雪に万全の布陣

特別豪雪を展覧して来ましたが、昨年度に比べて今年度も一千二百万円を投じて最新鋭の除雪車(双輪式)一台を増強、冬期交通確保のための態勢をさらに強化しました。

全国で初納車

の大型機種

除雪車が作業中に停車する場合は必ず二十分以上の車間距離をもって停止する。また

大規模放牧場が必要

第二次農構 計画策定前に診断うける

昭和五十一年度指定をうけようとする第二次農業構造改善事業計画の策定を行うにあたって、町ではこのほど全国農業構造改善協会を通じて同計画の骨子となる畜産の振興および畜産の機械化一貫体系の確立と集団化について、それぞれの専門家による診断をうけ助言を求めました。



第二次農構計画策定を前にコンサルタント(手前)から講評をうける町、農協首脳たち

「母乳が最高の栄養源」

保健推進員・若い母親ら70人

十二月八日、町保健推進委員会(榎山マサエ会長)主催の第三回推進員研修会が、乳児を持つ若い母親たちと合同で役場を会場に開催され成果をおさめました。

「係の東京滞在」

今月は20日から

町では、賃金問題や就労条件に最もトラブルの発生しやすくなる今月から四月にかけて毎月一定期間ずつ、秋田県町村職員互助会東京宿泊所(東京都台東区上野三丁目39番5号)へ出張し、同所に対する安全就労の要望など事故の未然防止やトラブル発生時の早期解決のための便宜をはかることにしています。今月以降の係の上京滞在予定は次のとおり。

安易な人工乳の切り替えに警告

岡村医師は、乳児がかかりやすい病気の種類や現状、乳

い心配されるという出かせぎ者からの要請に基づき、十二月十八日から同二十二日まで係が上京、出かせぎ互助会東京連絡所を基地に当該事業所を訪問、雇用関係の適正化と就労条件の改善交渉にあたるなど、安全就労について事業所側へ強力な要請を行な

出かせぎのお伴に 郷里のたばこを

家族への便りのついでに、あるいは直接小売店へ連絡ください。代金帰郷時決済等の条件で送料を町が負担、直ちに送付することになっています。

昨年年度に本町へ交付されたたばこ消費税は七百八十九万七千円にものほり、町政推進上の重要な財源になっています。

本年度は十一月末現在で五百二十八万三千円に達していますが、例年、出かせぎ期間に当たる一月から三月まではたばこの売り上げが激減するに伴って町へ入る消費税の額も大幅に低下します。



岡村医師の講演に耳を傾ける婦人たち

歳末助け合いの「善意」38世帯に

町民みんなが明るいお正月を、と、願いを込めて行われた歳末助け合い運動が、多くの町民の善意に支えられ

また、関東六都県に二人以上、同計画は場合により変更されることもあります。

東由利町報

No. 230の③ 昭和51年(1976)1月1日

発行 秋田県東由利町役場 印刷 KK本間印刷所
毎月1日発行(1部20円)昭和42年7月21日第3種郵便物認可

えつけの申請書に四百円の手料を添え郵便振替で申込みができます。同センターでは運転免許経歴書の発行なども行うことになっていきます。詳しいことは駐在所へ。

「交通事故証明書」
安全運転センターが発行
交通事故証明書が今月一日から警察署でなく、自動車安全運転センター秋田県事務所が発行されます。申請は、駐在所等に備へ

救急車配備で二名増員

応急体制を確立、態勢強化

—東由利分署—

秋田県共済農業協同組合連合会から本荘地区組合消防署に寄贈を受けた救急車が、東由利分署に配備されたことに伴い、同分署の実戦力を強化する意味からこのほど二名の職員が増置され十二名になりました。
十名の職員が半数交替で二十四時間勤務につく同分署のこれまでの実戦力は、現場出勤が三名であり、機材の配備はあつても消防・救急の同時出動は事実上不可能に近いと見られていました。
町と同分署では、救急出動後におけるこうした消防機能のマヒ状態を回避するため、非常備消防団員から人選、応急的な消防力確保の体制を確立して訓練を実施するなど対応策を講じていたときだけにこのたびの配備が関係者から歓迎されています。



農協共済のマークもあさやかな東由利分署の救急車

同分署では二名の増員はあつたものの、十分な態勢ではないとして非常備団員による応急体制は当分継続、一朝有事の際に備えて行くことになっています。

救急出動五日に一回

十二月一日の午前零時を期して同分署が救急業務を開始して以来、同月二十三日現在で出動回数は五回にのぼり、四・六日に一回の割合で出動したことになります。

内訳は、交通事故・労働災害・急病が各一件、一般負傷が二件でいずれも要請があつてから現場へ到着するまで従来より三十分から四十分も早いと言われ、分署配備の効果が発揮されています。

出かせぎ者の便り

元気でやっています

拝啓 師走の候となり何かとせわしくなりました。御多忙のところわざわざご連絡下さいまして有難度ございました。現在、畠山乙美、小笠原秋夫、阿部米造、小松正、小松庄治と自分の六人が一緒に表記に宿泊しております。一同元気でやっておりますので他事ながら御休ください。

今日町報をいただき、すぎ

腹の夕飯も忘れ、一同郷里の話題に熱中してうれしい一時を過ぎました。帰郷バス利用者は四人です。よろしくお願ひいたします。年始の上京
加藤工務店内 伊東隆
(係の帰郷バス連絡に)

応えた返事でした)
今月の作業停電
8日 10時~13時 五海保
板戸・久保・山崎・松柴。

子どもの目

- ▽今号から「子どもの目」と題して、町内各小学校児童代表に町内の各施設や事業所を中心に見学取材してもらい、その訪問記をシリーズで掲載することを企画して見ました。第一回目として住吉小のお友だち二人に東由利分署を見学してもらいました。

命がけのむずかしい仕事

見学取材者 住吉小6年

青木 哲人 君
八島恵美子さん

わたしたちは十二月十一日の午後、下村先生と一緒に、老方にある消防分署を見学しました。

消防分署は、右側が車庫で赤い消防自動車と白いきゅうろ車があり、左側が署長室で、一番最初に気がついてきたのは、蔵部落の方がよく見えるといふことと、そばには、この部屋には、無線の機械が置いてあり、ドアの向かいが車庫に通じていました。

東由利分署の巻



消防署のおじさんから説明をうけ取材をする青木君と八島さん

この分署には職員が十人いて、半数ずつの交代で勤務していることと、私たちが寝ている間も寝ないで火事やきゅうろ車があるとき、出どうするこ

最も印象に残ったことは、火事の際、中に人が残っていることがわかったら、自分の命がなくなるかも知れないのに、勇かに火の中に飛び込んで中の人を助け出すということでした。
命がけの仕事をしている消防署のおじさんたちのために、火遊びなどは絶対しないようにしなければならぬと強く思いました。

青少年の

シンナー遊びを追放しよう

非行、廃人、死亡の原因に

注意と関心“全町民で”

▼ 県内の青少年の間に死にもつながらるシンナー遊びが目立っており、十▼ 月末までに七十人が補導されたと言▼ われ冬休みを迎えてさらに増加する▼ ことが心配されています。

シンナー力になる。③実際には見えなや接着剤、いものが見えたり他人に襲わ塗料には「れるような幻覚症状が起るトルエン・④造血機能に障害が起る酢酸エチル血や白血球が減少する。⑤麻酔作用により呼吸困難が起る害な成分が死亡することもある」とされ含有されています。

おり、これシンナー乱用の青少年はこを多量に吸うした障害が原因して非行に入るとい走りたり罪をおかしたり、場合によっては廃人や死亡にまで追い込まれます。

発見のポイント

動が軽そつ 遊ばの害から青少年を守り、

失いトロンとしている。徒の生活指導に必要な情報の⑤衣服や所持品などにシンナー特有の刺激臭がある。などがあげられます。特に家庭では、子ども

健全育成をはかるためには全町民の関心と協力が必要です。乱用青少年発見のポイントとしては①注意力が散漫で落ちつきがない。②理解力・判断力が弱まり無気力の状態が続き。③ヒステリー症状を起しやす。④吸入時は目が焦点を

昨年四月から全日制高校となり校勢の伸長発展に意欲を燃やしている本荘高校下郷分校(江幡直也教頭)では、よりよい校風づくりを目標に、このほど振興会・同窓会・PTA・学校の四者からなる校外生活指導委員会を発足させました。

校外指導に協力を

非行防止に“指導委員会”設置

同委員会は校外における生

- 校 校 校
- 高 高 高
- 分 分 分
- 校 校 校
- 地 地 地
- 区 区 区
- 佐 佐 佐
- 藤 藤 藤
- 清 清 清
- 一 一 一
- 阿 阿 阿
- 部 部 部
- 富 富 富
- 三 三 三
- (法 法 法)
- 内 内 内
- 地 地 地
- 区 区 区
- 佐 佐 佐
- 々 々 々
- 木 木 木
- 長 長 長
- 門 門 門
- ・ 小松慶治(宿地区)以上。

継続受給の要件、現況届、

提出は2月15日以前に

国民年金の老 現況届の用紙(ハガキ)は今年金は年四回 今月中旬頃までに、老令年金に於いて郵便局や通算老令年金を受給しているなどから支払わられておりますが、毎年引き続いて支払いをうけるためには年一回、年金をうける資格等に異動がないことを証明する「国民年金受給権者現況届」を提出して社会保険庁から確認をうけることが必要です。この現況届の提出期限は毎年二月十五日となっており、今年もその時期が近づいてい

年金通信

うっかりして期限まで提出しないでしまうと六月以降の年金が受給できなくなる場合もあります。用紙は折りまげたり汚したりしないよう注意が必要です。

除雪の効果をおけるため

不法駐車をやめよう 本格的な冬場を迎え、降雪量の多くなる季節です。別項でも協力を要請してあるとおり夜間や長時間の路上駐車は除雪の大きな障害となり、能力を半減させます。

特にロータリー車や新鋭除雪車の全幅は3路60号にも達し、駐車があると除雪のできない場合がでて来ます。不法駐車をさせないよう全町民の協力がのぞまれています。



都会生活に一点の潤い

次号が待ち遠しい「町報」

私の場合、郷里を離れてすでに二十年になります。毎月送付いた

いるにもかかわらず、同郷の者たちが我れ先にと郷里のニュースにとび付き、事務所の私のところには一番最後にかまわって来ません。私の店員教育の甘さなのか、町報に上まわるのか、とにかくそん

な状態です。それほどまでに郷里とは懐かしく常に心から離れることのないものなのです。長い下積み生活に耐えてようやく独立した私などは、所詮大金を残して隠居...などということは夢ですし、例えあ

こうした先き行き不安も大きい生活の中に、一点の潤いをおいを与え、心のなぐさめとなるのが町報で、毎月すみからすみまで丹念に読ませていただいております。読み終えたと次号が待ち遠しく感じられます。

郷里に錦...といふにはほど遠い現実ですが、まだまだ若いし、せいぜい心に錦で精いっぱい頑張りたいです。(中略)

末筆ではございますが、町長様始めスタッフご一同様のご多幸と郷里東由利の発展を心から祈念してお礼にかえさせていただきます

草々

船橋市 高橋和雄